



豊田中学校 学校だより

# 豊田の里

平成30年10月25日  
第8号  
発行 豊田中学校

## 平成30年度全国学力学習状況調査結果より

平成30年4月17日（火）に行われた学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。

はじめに **全国学力・学習状況調査とは**

- 調査の目的
  - ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
  - ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
  - ・以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 対象学年…小学校第6学年および中学校第3学年
- 本年度調査内容…教科（国語・数学・理科）および生活習慣や学校環境  
（教科に関する調査：主に「知識」に関する問題A および主に「活用」に関する問題B）

**全国・県平均よりやや低い結果に**

**豊田中学校の結果**

1 教科に関する調査

教科	国 語		数 学		理 科
	問題A（主に知識）	問題B（主に活用）	問題A（主に知識）	問題B（主に活用）	
問題	問題A（主に知識）		問題B（主に活用）		問題A・Bの区別なし
結果	全国平均よりやや低い	全国平均よりやや低い	全国平均よりやや低い	全国平均よりやや低い	全国平均よりやや低い
	県平均よりやや低い	県平均よりやや低い	県平均よりやや低い	県平均よりやや低い	県平均よりやや低い

<各教科担当の分析>

【国語】

- ・説明的文章の内容構成を捉えたり、文学的文章で登場人物の描写を読み取ったりする問題は、全国・県と比べ正答率が高かったです。文章とグラフの関係を考えながら内容を捉える問題の正答率も、全国・県を上回りました。
- ・語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉えたり、文脈の中で適切に使ったりすることもできていました。
- ・目的に応じて文の成分の順序や構成を考えて適切に書いたり、相手に的確に伝わるよう不可欠な要素を押さえて書いたりする問題の正答率は低い傾向があります。その多くは、複数ある条件を満たさず書いているものでした。また、それら論述問題の無解答率も高く、論理的に説明することへの抵抗感を抱えている生徒も多いことが見受けられました。
- ・以上のことから、授業において目的や意図・相手に応じて自分の考えを説明する機会を増やしたり、資料の読み取りをもとに様々な形態で話し合ったりする言語活動を増やしていきます。

【数学】

- ・簡単な比例式を解く問題の正答率は全国・県より高く、定着が見られました。
- ・一次関数の傾きと切片の値とグラフの特徴を関連付けて解く問題の正答率も全国・県よりも高い傾向が見られました。

- ・事象を読み取り、与えられた情報からその事象の傾向を正しく捉えて、判断した理由を記述する問題や、図形の証明問題などの正答率は低く、深く思考し、数学的な表現を用いて説明する力が弱い傾向が見られました。
- ・これらの結果を基に、授業では、説明の根拠となる基礎的な知識の定着に力を入れていくとともに、身の回りにある事柄を数学的な見方で捉え、数学的な用語を用いて説明し合ったり、自分の考えを記述したりする場面設定を増やしていきます。表やグラフ、文章から読み取り、説明する力を高める指導に力を入れていきます。

#### 【理科】

- ・出題された、神経や貝の問題などの生物的領域については、活用に関する問題と知識に関する問題のいずれも、全国・県の結果と比べ正答率が高かったです。一方、オームの法則を使って抵抗を求めるような物理的領域や、太平洋高気圧の特徴を問うような地学的領域の正答率は低めでした。
- ・「自然事象への関心・意欲・態度」にかかわる問題の正答率が低めでした。また、光の道筋を説明したり、結果の表から値を読み取ったり、数値を計算して正答を導くような問いの正答率も低い傾向にありました。
- ・以上のことから、今後は授業において、特に物理的領域や地学的領域の自然事象により関心がもてるように教材との出会わせ方を工夫したり、グラフ化された実験の結果を読み取る場面や実験の考察を論理的に説明したりする場面を意図的に増やしていきます。

## 2 生活習慣や学校環境に関する調査

○人の役に立つ人間になりたいと思いますか

- ・当てはまる・・・・・・・・・・78.9%（全国・県の平均より大きく上回る。）
- ・どちらかといえば、当てはまる・・・17.9%

○今住んでいる地域の行事に参加していますか

- ・当てはまる・・・・・・・・・・55.3%（全国・県の平均より大きく上回る。）
- ・どちらかといえば、当てはまる・・・32.5%

○地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか

- ・当てはまる・・・・・・・・・・72.4%（全国・県の平均より大きく上回る。）
- ・どちらかといえば、当てはまる・・・8.1%

○1、2年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人とかかわったりする機会があったと思いますか

- ・当てはまる・・・・・・・・・・52.0%（全国・県の平均より大きく上回る。）
- ・どちらかといえば、当てはまる・・・33.3%

○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

- ・当てはまる・・・・・・・・・・8.9%（全国・県の平均より上回る。）
- ・どちらかといえば、当てはまる・・・36.6%

○テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含みます）

- ・当てはまる・・・・・・・・・・51.2%（全国・県の平均より上回る。）
- ・どちらかといえば、当てはまる・・・38.2%

※ 本校の”志を育む”キャリア教育を軸とした教育活動が良好な結果に表れています。

○放課後に何をして過ごすことが多いですか

- ・家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている  
・・・87.8%（全国・県の平均より多い）

○週末に何をして過ごすことが多いですか

- ・家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている  
・・・85.4%（全国・県の平均より多い）

※ 放課後や週末に、家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている割合が、全国・県の平均よりも高い結果となっています。御家庭において、テレビやビデオ・DVD・ゲーム・インターネットの使用時間のルールについて、今一度見直してみてください。